

## 平成19年度有明海・八代海総合調査推進業務

第27回有明海・八代海総合調査評価委員会  
平成19年7月30日

独立行政法人水産総合研究センター  
特定非営利活動法人有明海再生機構  
いであ株式会社

### 【委員会報告の要点】

#### 具体的な再生の目標

- (1) 希少な生態系、生物多様性及び生物浄化機能の保全・回復
- (2) 二枚貝等の生息環境の保全回復とバランスのとれた水産資源の回復

#### 今後の調査研究の基本的な考え方

- 1) 多くの成果と課題 調査研究の継続、具体的な再生方策、解明すべき課題(重点化課題)
- 2) マスタープランの作成、総合的なモデルの構築、総合的な評価の仕組み
- 3) 海域環境モニタリングの継続・強化

## 【業務のポイント】

### 【背景】

- 現状把握から再生へ
- 環境保全と漁業振興
- 予算と人員

### 【ポイント】

- 1) 調査研究から技術開発・実用化へ
- 2) 情報共有、連携・協力の促進
- 3) 効率的かつ効果的な推進体制

## 【業務の二つの柱】

### マスタープラン 総合調査推進計画の策定

調査計画や成果等に関する情報収集、データベース化  
連携協力が効果的な調査、補完すべき調査等の特定  
関係機関間の連絡調整(必要に応じて現地調整会議を開催)  
総合調査推進計画(案)の策定 評価委員会へ報告

### 情報共有や連携強化に資するその他の措置

情報共有の促進(データベースのリスト化、データベースの利  
用及び運営に関する指針の作成)  
調査観測指針等の策定(共同調査の実施促進、データの有  
効活用)

## 【 調査計画や成果等に関する情報収集、データベース化(1)】

### 【調査研究計画等の情報を収集する対象機関】

- ・調査研究を実施している大学、法人及び国公立の試験研究機関
- ・調査研究的要素の高い事業を実施している行政機関

### 【収集する調査研究計画等の情報】

- ・第5章第3節及び第4節の調査研究計画に関する情報
- ・調査研究等の成果に加えて、第5章第5節の「総合的なモデルの構築」及び「調査研究等の総合評価」に必要な情報、データ及び技術等

## 【 調査計画や成果等に関する情報収集、データベース化(2)】

### 【計画データベースと成果・情報等データベース】

- ・計画DBのフレーム及び成果・情報等DBのフレーム及び記入要領、取扱要領等の提示
- ・ホームページ等での関係機関への協力依頼(各研究機関等への計画DB等の入力様式、記入要領、取扱要領等について広報・掲示、文書送付)

### 【収集した計画、成果・情報等の取りまとめ方法】

- ・9月中旬を目途に第一次集約、本年末を目途に第二次集約
- ・成果・情報等は必要に応じて環境省に提供

## 【 連携協力が効果的な調査、補完すべき調査等の特定】

### 【ワーキンググループによる検討】

- 1) 漁業・生物WG、河川・海域環境WG、物理・モデルWG等
- 2) 補完すべき課題とその理由の整理、連携・協力によって一層の効果が期待される課題の特定

## 【 関係機関間の連絡調整(必要に応じて現地調整会議を開催)(1)】

### 【既存の枠組みを利用した連携・協力の強化】

- 1) 西海ブロック水産業関係研究開発推進会議等
- 2) シンポジウム開催、学会活動等

## 【 関係機関間の連絡調整(必要に応じて現地調整会議を開催)(2)】

### 【現地調整会議の構成等】

- 1) 必要に応じて、参加を要請し、開催
- 2) 事務局及び各WGリーダーと課題担当者、調査研究機関等の代表担当者で構成

### 【現地調整会議の役割と運営】

- 1) 相互に計画を把握・理解・調整、より詳細な計画内容についての説明、連携・協力のあり方についての事務局提案
- 2) 現地調整会議の開催回数は、年2回以内
- 3) 1回に取り扱う課題数は、優先順位に基づいた3課題以内

## 【 総合調査推進計画の策定 評価委員会への報告】

### 【総合調査推進計画(案)の取りまとめ】

#### 1)ロードマップ形式で、かつ多層構造

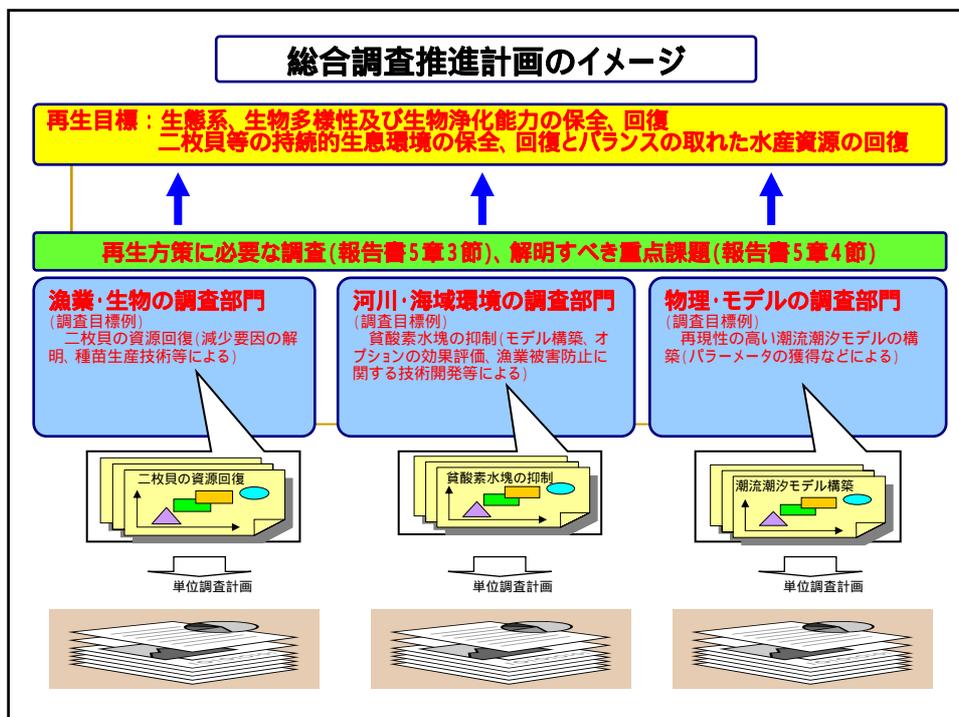
- ・委員会報告第5章第3節及び第4節の各項目
- ・漁業・生物、河川・海域環境、物理・モデル等の区分で

#### 2)ロードマップの内容

- ・基本的には、横軸を時間軸に縦軸を達成度等にした図で表現
- ・目標と目標に至る過程をできるだけ明確に
- ・課題の優先順位と関係機関の役割分担を明確に

#### 3)現地有識者説明会の開催

- ・広く漁業者や市民、行政部局の代表者の意見等を参考に
- ・両海域において各々1回、本年末を目途に開催



## 【 情報共有の促進】

### 【データベースのリスト化、利用及び運営に関する指針の作成】

- ・調査研究で得られた成果(各種データ、パラメータや情報等を含む)に係るデータベースの構築とその共有化の促進
- ・構築すべきデータベースのリスト及びデータベースの利用・運営指針の作成 **データベース検討チーム**

## 【 調査観測指針等の策定】

### 【役割分担や共同調査の実施促進】

- ・各機関等の特性(技能、人的資源や機器・設備等)を生かした役割分担、総合的な共同調査の実施
- ・調査観測指針、マニュアル等の共有や技術交流
- ・調査観測指針の作成 **調査観測指針等検討チーム**

## 【業務実施体制】

### 【事務局体制と各機関の役割分担】

- ・**独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所**  
国・県の調査研究機関の計画の収集・整理、計画の分析  
総合調査推進計画(案)の作成  
ブロック会議等での連携・協力の促進等
- ・**特定非営利活動法人有明海再生機構**  
大学の計画の収集・整理、計画の分析  
総合調査推進計画(案)の作成  
学会等での連携・協力の促進等
- ・**いであ株式会社九州支店**  
成果、情報、データ及び技術等の収集・整理・分析・提供等

## 【業務従事者の配置、役割分担等】

### 【事務局内チーム(印はチームリーダー)】

総合調査推進計画(案)作成チーム: 小谷、木元、小林、前野、荒牧、大串、速水、山本、酒井、川岸、外部有識者

計画DB作成チーム: 小谷、中野、空閑、川岸

成果・情報等DB作成チーム: 小谷、森下、川岸、尾木

調査観測指針等検討チーム: 木元、西濱、山本、川岸、尾木、外部有識者

DB検討チーム: 小谷、木元、玉城、速水、外部有識者

### 【ワーキンググループ会議(印は主担当者)】

漁業・生物WG: 小谷、藤吉、前野、酒井、尾木、外部有識者

河川・海域環境WG: 木元、西濱、塚本、速水、山本、川岸、外部有識者

物理・モデルWG: 小谷、木元、大串、速水、森下、外部有識者

### 【現地調整会議(印は主担当者)】

担当者: 小谷、木元、大串、速水、山本、酒井

### 【現地有識者説明会(印は主担当者)】

担当者: 小谷、中野、空閑、尾木

## 【業務全体の実施フロー】

- 7月 有明海・八代海総合調査評価委員会等における説明
- 8月 主要な研究機関等への説明  
ホームページ等による協力依頼等の広報・掲示
- 9月 計画データベース、成果・情報等データベースの第一次集約  
第一次集約の計画データベースの整理・分析  
第1回WG会議の開催、連携・協力が望まれる課題の特定等
- 10月 第1回現地調整会議の開催
- 11月 現地有識者説明会(有明海、八代海)の開催
- 12月 計画データベース、成果・情報等データベースの第二次集約
- 1月 第二次集約の計画データベースの整理・分析  
第2回WG会議の開催、連携・協力が望まれる課題の特定等
- 2月 第2回現地調整会議の開催
- 3月 平成19年度総合調査推進業務報告書の提出